

要請番号 (JL50623A17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	G158 理科教育		個別	新規	2年	・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

リエルトゼネブワルク小学校

3) 任地 (アディスアベバ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都アディスアベバのイエカサブシティにある公立小学校。生徒数約1010名の大規模校で理科教員数は8名。エチオピアの小学校はGrade1～Grade8の8年制(小学校1年～中学校2年に相当)で概ね7～14歳の生徒が在籍しており、Grade6までは授業には現地公用語であるアムハラ語が用いられ、Grade7からは英語が使用されている。2022年度から理科のカリキュラムが変更になり、物理・化学・生物で担当が分かれていたものが統合され、一人の理科教師が3科目全てを教えるようになった。同校へのJICA海外協力隊の派遣は今回が初めてとなる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エチオピア政府の教育方針では、理論偏重の教育からより実践的な教育への転換を目指している。しかしながら教育現場では、教員の実験に関する経験・知識不足や教材の入手困難から依然として板書中心の授業が主流であり、実験・観察を取り入れた実践的な理科授業の普及が課題となっている。首都にある配属先には一定の薬品・器具がそろっているが、教員の経験不足やカリキュラム変更の影響もあり教科書に載っている実験・観察が十分に実施できておらず、生徒の理科に対する理解度が低いことが課題となっている。そこで隊員には、現地教員による生徒中心の理科授業の実施や理科実験室の有効活用方法の提案などを通して生徒の理科に対する理解度を高める活動が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

小学校高学年～中学校2年生に相当する生徒を対象にし、同僚とともに下記の内容に関する活動を行う。なお、物理・化学・生物の科目は問われていないため、隊員の専門分野に関する活動を行う。

- ・薬品・器具の取り扱い方
- ・実験や観察を取り入れた指導方法
- ・生徒中心授業の考えを取り入れた指導方法
- ・必要に応じて他の小学校に派遣されている隊員と連携した活動や周辺校の巡回指導の実施

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

理科実験室、薬品、器具:試験管、フラスコ、ビーカー、顕微鏡(数は少ない)、人体模型など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚

Grade5～8理科教員:4名(男性3名、女性1名、20～30代)

活動対象者:Grade5～8の生徒約550名
約50人/クラス、各学年3クラス

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(理科))

[学歴]：(大卒) 備考：配属先学歴レベルとの調和のため

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 2年以上 備考：同僚への指導が必要のため

[汎用経験]：

・理科実験の経験や薬品・器具の知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(9～27℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可 無線) [水道]：(安定)

【特記事項】

エチオピアの小学校ではGrade1～6はアムハラ語、Grade7～8は英語で授業を行うため、活動使用言語もそれに準ずる。生活使用言語はアムハラ語。アムハラ語は赴任後の現地訓練にて学習する。水道は安定しており、電気は毎日1時間程度停電。